

学校評価の目的・学校評価に関する規定

【学校評価の目的】

学校評価の目的は、次の3点で考えられます。

第1点目として、各学校で目指すべき目標を設定し、その目標から見て、達成状況がどうであるかを評価（把握・整理）し、その結果を踏まえて、組織的、継続的な改善を図ることで

第2点目として、評価結果を保護者や地域住民等に説明・公表することによって理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることです。

第3点目として、各学校の評価結果を受けて設置者等が学校に対する支援や条件整備等の必要な措置を講じることです。

学校評価の目的

目標の設定	状況の把握	組織的・継続的改善	
結果の説明・公表	保護者・地域住民の理解と参画		信頼される学校づくり
学校評価の結果	支援や条件整備（教育委員会）		

【学校評価に関する規定】

学校評価に関して、次のように規定されています。

学校教育法（学校評価関係）

（第42条）

小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずる事により、その教育水準の向上に努めなければならない。

（第43条）

小学校は、当該小学校に関する保護者及び地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するものとする。

これらの規定は、幼稚園（第28条）、中学校（第49条）、高等学校（第62条）、中等教育学校（第70条）、特別支援学校（第82条）、専修学校（第133条）及び各種学校（第134条第2項）に、それぞれ準用する。

学校教育法施行規則の条文（学校評価関係）

（第66条）

小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の評価を行うに当たっては、小学校は、その実情に応じ、適切な項目を設定して行うものとする。

（第67条）

小学校は、前条第1項の規定による評価の結果を踏まえた当該小学校の児童の保護者その他の当該小学校関係の関係者（当該小学校の職員を除く。）による評価を行い、その結果を公表するよう努めるものとする。

（第68条）

小学校は、第66条第1項の規定による評価の結果及び前条の規定により評価を行った場合はその結果を、当該小学校の設置者に報告するものとする。

これらの規定は、幼稚園（第39条）、中学校（第79条）、高等学校（第104条）、中等教育学校（第113条）、特別支援学校（第135条）、専修学校（第189条）及び各種学校（第190条）に、それぞれ準用する。

このことにより、各学校では

教職員による自己評価・学校の関係者による学校関係者評価 結果の公表

自己評価結果・学校関係者評価結果 設置者に報告

を行う必要があります。